

Press Release

NEW モデルとアダプティブ・ウーファー技術により Genelec の 'The Ones'ファミリーがさらに拡張

2019年9月5日：フィンランド Iisalmi... プロフェッショナル・オーディオ・モニタリングの世界的リーダーである GENELEC は、より広範囲なルーム・サイズ、リスニング・ポイントおよび音圧レベル要件で、これまでと同様に妥協のない高精度モニタリングを実現するために究極のポイント・ソース・モニターである The Ones ファミリーのラインアップを拡張する NEW モデルと最新技術を発表致しました。新しい同軸 3 Way モニター 8361A および 8351B、そして The Ones ファミリーを補完する W371A アダプティブ・ウーファー・システムの発表により、The Ones ファミリーがニアフィールドからマスタリングやメイン・モニターとしての使用に至るまで、極めて無色透明で中立的なリファレンス・モニタリングのパフォーマンスを提供することを意味します。

2014年に誕生した The Ones ファミリー。最初のモデルとなった 8351A は、その驚異的なイメージング、拡張された周波数特性、制御された指向性、そして疲労のないリスニングにより、プロの現場でのレコーディングやミキシングの作業効率を高め、より豊富な情報による判断の一貫性をもたらしました。2017年には 8331A および 8341A がラインアップに加わり、これらニアフィールド・モニタリング向けの 3 モデルは、その驚異的なパフォーマンスで世界中のユーザーに驚きをもたらし数々の賞も受賞しました。直接音と反射音のいずれにも色付けのないニュートラルな特性により、The Ones は信じられないほど優れたルーム・サウンドを提供するモニターとして急速に高い評価を得ました。

本日アナウンスした新しい 3 way 同軸モニター 8361A は、ポイント・ソースの概念をさらに洗練させ、その極めて高いダイナミック・レンジ、比類のない指向性とイメージング、同クラス最高峰のピーク・レベル 118dB は、現在入手可能なスタジオ・モニターの中で最も先進的な音響パフォーマンスを提供します。The Ones ファミリーで最大サイズとなる 8361A は、最大 5 メートルまでのあらゆるリスニング・ポイントで絶妙なモニタリング体験を提供し、中規模サイズまでのルームに最適です。

8361A は、非常に低歪みで高い音圧レベルをもたらす新しく設計された 2 基のウーファーを搭載。音がそれぞれキャンセルされないようにレイアウトし、1 つの巨大なウーファーのように機能させるために音響軸上にて対症的にレイアウトされています。また、滑らかな指向性、低歪み、高い音圧レベルと 40kHz まで拡張された周波数特性をもたらす新たな Minimum Diffraction Coaxial (MDC™) は、音響軸上の不連続を生じることのない一体化された同軸ミッドレンジ&ツイーター・ドライバーで構成され、The Ones ファミリーの全てのモデルと同じく、8361A のユニークな最小回折エンクロージャ (MDE™) は音への不要な色付けを排除します。また、フロント・バッフル面全体を指向性制御ウェーブガイドとして機能し、非常にワイドで色付けのないスイート・スポットを生み出します。効率的な独自のクラス D アンプは、ディレイ補正および室内音響補正用の精密な 20 バンド EQ を含む高度な DSP 処理によって補完されます。

アップデートされた 8351B は、他の The Ones ファミリーで取り入れられた技術の多くを共有し、Genelec が先駆的に取り組んで来た電子的、機械的、音響的デザインにおける最近の多くの進歩からの恩恵を受けています。8341A のエレクトロニクス・デザインおよび 8361A のドライバー技術から着想を得て、8351B は音圧レベルの増加、追加の室内音響補正 EQ、ディレイ補正および強化された HF レスポンスなど、前モデルの模範的なパフォーマンスに更なるアップデートを提供しています。

非常にユニークなコンセプトの W371A アダプティブ・ウーファー・システムは、8341、8351、8361 モニターをシームレスに補完するように特別にデザインされ、これらのモデルと組み合わせることで、比類ない中立性、指向性および室内音響効果に対する最高レベルの制御を備えた一連のフルレンジ・モニタリング・ソリューションを提供します。この独立したシステムをコントロール・ルーム内の最適なポジションに配置することにより、ユーザーはスタジオ内でメイン・モニターの利点をすべて体験することができ、さらにイメージ・シフトなしでニアフィールドとメイン・モニターを切り替えるオプションまでも得ることが可能です。

W371A は、スタンドも兼ねる高さ 1100mm の筐体の前面と背面にデュアル・ハイパフォーマンス・ウーファーを搭載し、クリティカルな超低音域の 4 オクターブに渡ってシステムのパフォーマンスを固有ケースに慎重に対応させるための斬新な方法の数々を提供。その結果、W371A はより首尾一貫した低周波帯のイメージングにより、包容性を犠牲にすることなく、さらにフラットでスムーズな室内周波数特性を得て、標準的なラウドスピーカーやサブウーファーと比較しても非常に優れたパフォーマンスを提供しています。

The Ones 同軸モデルのデュアル・ウーファーを W371A によって増強することにより、チャンネルあたり合計 4 基のウーファーをもたらすことになり、高度な音響測定法を使い、クロスオーバー周波数、極性、指向性などを制御する多くのツールを組み合わせ、望ましくないキャンセルや定在波の影響を低減します。その結果、今日における全てのスタジオで重

要な問題として取り上げられている低音域再生における悪影響を取り除くことに関して、W371A は他のどのモニタリング・システムよりもさらに進歩しました。

Genelec のスマート・アクティブ・モニタリング (SAM™) 製品の一つとして、The Ones の全てのモデルは、Genelec スマート・モニタリング・システム全体を構成、調整、制御する GLM ソフトウェア・アプリケーションと緊密に統合されています。世界中の何千ものスタジオでの経験に基づいて、GLM はリスニング・ルームのサウンドへの影響を最小限に抑えることができ、モノラル、ステレオ、マルチチャンネルのイマーシブなどフォーマットを問わず、他の再生システムで完全に再現できるミックスを制作できる環境をユーザーに提供します。

Genelec マネージング・ディレクターの Siamak Naghian は、本製品の発表に際して次のようにコメントしています：

「このレベルの一貫性、制御性、中立性、そしてどのような音響環境にも適応する能力を備えたスタジオ・モニターは他にありません。超ニアフィールドでの正確さを誇る 8331A からフルレンジ・システムを構成する 8361A および W371A まで、Genelec のポイント・ソース技術は全てのスケールをカバーしています。その魅力をさらに拡大しており、The Ones ファミリーは原音の忠実な再現へのリファレンス・モニタリングにおけるベンチマークであり続けています」

詳細については <https://www.genelec.jp> をご覧ください。

Genelec について

1978 年の設立以来、プロ向けオーディオ・モニタリングは Genelec におけるビジネスの中核を成してきました。その研究開発への比類のない取り組みは業界に多くの革新をもたらし、Genelec はアクティブ・モニターにおける世界的なリーダーとしての地位を築いてきました。40 年経った今も、Genelec のモニタリング製品は、信頼性、サイズに関わらず中立的な音の再現性、そしてリスニング環境の音響条件に適応する能力を提供するという本来の哲学に忠実なままです。Genelec のお客様は、音響アドバイスや調整サービスから、技術サービス、さらには長い製品寿命に至るまで、この分野で最高のサポートを享受されています。Genelec 製品をお選びいただくことは、極めて優れた信頼性の高いオーディオ・モニタリングへの安全で長期的な投資です。

このプレス・リリースの詳細については以下にお問い合わせください。

株式会社ジェネレックジャパン
マーケティング
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-22-21
Email : press@genelec.jp
電話:03-6441-0591